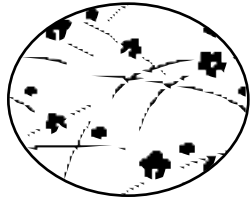


組合に加入して、
「評価・育成システム」を
なくそう！

泉北教育

NO.1901 2012.10.9
発行 泉北教職員組合
〒594-0071 和泉市府中町6-12-2
TEL0725-41-1953 Fax0725-44-6570
E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

授業アンケート



ねらいは教員にランク付け 授業改善とは無縁

泉北教組の要求

1. 「評価・育成システム」の改訂にあたり、あらためて「評価・育成システム」を廃止すること。とりわけ「賃金リンク」をやめること。
2. 教員として、子どもや保護者の意見や要望を聞き、教育活動や授業の改善にむけてとりくむことは当然である。ところが、今回の「授業アンケート」は授業改善にはつながらず、逆に学校を混乱させるものである。府教委との関係ではあくまで指導・助言の関係であることを踏まえ、高石市教育委員会として自主的に判断し、実施しないこと。

10月3日、泉北教組は忠岡町教委と「授業アンケート」問題で交渉を持ちました。泉北教組は、「アンケート」を町教委として実施しないよう強く要求しました。

忠岡町教委は泉北教組の要求（左表参照）に対して、

1. 教育委員会として実施せざるをえないが賃金リンクについては賛成ではない。府教委に対して意見をあげていく。
2. 府の条例にかかわって本町も準じて行わざるをえない。実施したうえで、見えてくる課題もある。クリアできない課題もある。課題は府に対して意見をあげていく。

と回答しました。

忠岡町教育委員会と交渉継続

【教育委員会からの主な回答】

●アンケートの内容は、必須5項目のみで3校とも自由記述は実施しない。

●授業アンケートのデータは、評価に直接反映させない。

●アンケート結果によって自分の至らないところ、校長に見えていないところが見えてくることもある。

●アンケート回収の強制はない。

●さまざまな課題があることは認識している。

【交渉で出た『授業アンケート』に対する質問・意見】

◆アンケートの賃金リンクが問題

◎教員として、子どもや保護者の意見や要望を聞き、教育

活動や授業の改善にむけてとりくむことは当然であるが、今回のアンケートは、授業改善につながるとは考えられない。賃金リンクが問題。教員のランク付けが目的としかいえない。しんどいクラスを持つことを避けようとしたら、教職員の共同が困難になったりはしないか。

◎府の計画ができていないのに従う必要がないのではないか。

実施の改善でなく、実施の撤回が必要。

◎町教委として府教委にアンケート中止をもとめること。

また、実施されても府教委に意見を上げ続けること。

◆不確かな「アンケート」子どもの好き嫌いが基準

◎教科担任制の中学校で、同一学年でも学級によって教科担当者が違い保護者に正確な評価ができるのか。

◎授業を見ていない親は、ご家庭で話し合っただけアンケートをというが、授業を見ずに評価できるのか。

◎アンケートお願いの文書は教育委員会が出すのか。

◎アンケートの趣旨プリントを出しても読まない保護者が多いのではないか。子どもの好き嫌いでアンケート記入にならないか。

高石市教委交渉

10月17日（木）

和泉市教委交渉

10月19日（金）

忠岡町教委交渉

10月24日（水）

開始時間17時午後6時

授業アンケート学習会

授業アンケートの内容とねらい

10月25日（木）

午後6時30分

会場：和泉市立中集合同室
講師：小林俊 大教組書記長

◆支援学級や学校は、子どもの受けとめを参考にしようというが、支援学校でも扱いが検討中と聞いている。支援学級の生徒や保護者はどうするか。

◆交渉継続を確認
交渉の中で今回の授業アンケートの実施について、実施撤回でなく、実施したうえで問題点、課題点をとりあげていくという違いはあるものの問題点、課題点があるという認識では一致しています。府の遅れている指針が示されたあと再度話し合うことを確認いたしました。

原 発 ゼ ロ の 社 会 を 実 現 し よ う